

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

スポーツ振興くじ (toto) 助成金についてはこちらから
(日本スポーツ振興センター HP) <http://www.jpnsport.go.jp/>

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数：4,645件



スポーツ振興くじ助成事業

INDEX

📌 〈特集〉クラブが持つ集客力のあるプログラム

- ▶ [NPO 法人スポネット弘前 \(青森県弘前市\) -チビッコバスケットボール教室-](#)
- ▶ [楽々\(らら\)クラブ矢巾\(やはば\) \(岩手県矢巾町\) -ホッケー教室-](#)
- ▶ [K-Friends \(徳島県勝浦町\) -どろたんぼカーニバル in かつうら-](#)

📌 〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

[まじらいんスポーツクラブの取り組み](#)

石巻市のスポーツ少年団を招待して「スポーツ交流」&「農業エコ体験」

📌 助成金情報

[申込締切：5月24日まで](#)

📌 お知らせ

- ▶ [平成25年度クラブマネジメント指導者海外研修事業参加者募集について](#)
- ▶ [総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」の募集開始!!](#)
- ▶ [労力半分、効果は2倍!あなたにもできる「クラブのらくらく広報」を作成!](#)
- ▶ [「スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン\(標語\)」の募集](#)
- ▶ [「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン特別セミナー」を開催!](#)
- ▶ [2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!](#)

クラブが持つ集客力のあるプログラム

[NPO法人スポネット弘前 –チビッコバスケットボール教室–]

1 プログラムの概要

★初心者・低学年コース

◎木曜夜コース

日 時：毎週木曜日19：00～21：00

場 所：青森県武道館

※場所が変更となる場合があります。

参加費：月2,000円

定 員：40名 小学校高学年の初心者中心

◎木曜夕方コース

日 時：毎週木曜日16：30～18：30

場 所：青森県武道館

※場所が変更となる場合があります。

参加費：月2,000円

定 員：40名 小学校低学年中心

◎土曜コース

日 時：毎月第1、3土曜日9：30～11：30

場 所：弘前市立朝陽小学校体育館

参加費：月1,000円

定 員：40名 小学校低学年中心

★経験者用スキルアップコース

◎金曜コース

日 時：毎週金曜日19：00～21：00

場 所：弘前市立東小学校体育館

参加費：月2,000円

定 員：50名 小学校高学年中心



その他、月1回の教室[GAME(入門編)、GAME(実践編)、スキルアップ(基礎編)、スキルアップ(応用編)]を実施。

特 徴：バスケットボールをやってみたいお子さんは誰でも参加できる楽しい教室です。初心者のお子さんが参加するコースから、スポーツ少年団でやっているが、もっとバスケットボールをやりたいというお子さん向けのコースまであり、希望に応じて参加できます。ボールを使って遊ぶ楽しさを体感できるプログラムと、バスケットボールの基礎をしっかりと学べるプログラムで構成しています。

2 レベルに応じたプログラムを用意しています

このプログラムを始めたきっかけは、クラブマネージャーである私が、バスケットボールの部活動が小学校になく、やりたくてもできない子どもたちや、勝利至上主義の風潮によりバーンアウトしていく子どもたちを見て、バスケットボールを通して身体を動かすことを純粋に楽しめる環境をつくりたいと考えたことから始まります。

このプログラムのポイントは、「プログラムの多様さ」と「『あくしゅ、あいさつ、ありがとう』の徹底」です。

まず「プログラムの多様さ」についてです。クラブでは、とにかく子どもたちを楽しんでもらうことを主眼に置いて

いるため、子どもたちのニーズやレベルに応じてコースごとにプログラムを変えています。また、夏合宿やクリスマスイベント、車椅子バスケ交流会など、楽しいイベントも開催しています。指導面では、スポーツ少年団などで指導を受けている子どもたちが参加する場合は、どのような指導を受けているかを確認します。子どもたちが指導法について迷わないようにするためです。

次に「『あくしゅ、あいさつ、ありがとう』の徹底」についてです。クラブでは、日本体育協会が展開する「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン※の趣旨に賛同し、「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」の実践に重点を置き指導しています。この取り組みが保護者から好評で、クラブが保護者からの信頼を得る一つの要因となっています。クラブでは、保護者との関わりも重視しており、日頃から保護者の話をよく聞くようにしています。

他方、教室を運営するスタッフには、スポネット弘前の理念とチビッコバスケットボール教室の方針を理解した上で活動してもらっています。クラブでは、理念や方針を共有できるスタッフを増やしていくことが重要だと考えています。

参加者の増加に伴い、多様なニーズが出てきたので、今後は中学生を対象とした基本コースやスキルアップコースなどを展開していきたいと考えています。細かい部分まで指導していくためには、現在5名の指導体制で行っていますが、新たな指導者を発掘することも必要です。また、私自身はスポーツ少年団の指導をしながらクラブの指導もしていますが、スポーツ少年団の指導者の確保・育成は、地域の課題になっている部分です。これに対しても、クラブとしてサポートしていける体制をつくっていききたいと考えています。

(NPO 法人スポネット弘前 クラブマネジャー 鹿内 葵)

クラブプロフィール

設立年月日：平成19年5月25日(総合型クラブとして活動を開始した年月日)
地 域：青森県弘前市(人口18万人の観光都市)
運 営：会員数 650名(平成25年3月31日現在) 予算規模 約1,200万円(平成24年度)
特 徴：現在15部門のサークルと教室を実施しているが、すべて競技志向ではなく、誰でも参加できる形式で行っている。また多くのイベントを行政や他の団体と連携しながら実施している。
連 絡 先：〒036-8035 弘前市百石町2-1 弘前商事ビル2F
TEL：0172-32-6523 FAX：0172-88-6239
E-mail：info@sponet-h.com
クラブHP：<http://sponet-h.com>
Facebook：<http://www.facebook.com/#!/sponet>
ブログ：<http://sponet-h.com/blog>

※「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンについてはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair>

[INDEXへ▲](#)

クラブが持つ集客力のあるプログラム

【^ら楽々^{やはば}クラブ矢巾 - ホッケー教室 -】

1 プログラムの概要

実施頻度：月2回、年間24回

場 所：岩手県立不來方^{こずかた}高等学校ホッケー場、矢巾町民総合体育館

参加者数：23名(小学生22名、中学生1名)

参加料：無料(年会費・スポーツ安全保険料のみ)

募集定員：40名

特 徴：地元の不來方高等学校ホッケー部顧問である岩館直也先生[元男子ホッケー競技日本代表選手(シドニー・アテネオリンピック大会予選出場)]と部員の方が指導者となり開催している。

2 豊富な経験と実績を持つ指導者が人気です

このプログラムは、「楽々クラブ矢巾(以下、クラブ)」が設立された平成21年3月、矢巾町で初めて総合型地域スポーツクラブが設立されたという新聞記事を見た岩館先生が、小中学生を対象にホッケーを普及させたいという熱い思いを胸に当クラブへ相談に来られたことから始まりました。クラブとしても小中学生の会員獲得につながることから、平成21年度に体験教室を2回開催しました。元日本代表の先生と全国大会にも出場する現役高校生の指導を受けられることもあり、参加した子どもと見学していた保護者から継続を希望する声が多く寄せられました。

そこで平成22年度は実施回数を増やして開催したところ、出席率100%と強い手応えを感じ、現在では年間を通したプログラムとして開催しています。

このプログラムのポイントは、高校運動部活動という地域のスポーツ資源を活用できているという点にあります。トップレベルの指導を受けることにより子どもたちにとっては質の高い教室となり、また指導する高校生にとっても良い経験となります。

この教室に参加した中学生の1人は、競技を続けたいからと不來方高等学校へ進学し、今では小学生の指導もしています。クラブ会員からホッケー部に入部した第1号の会員であり、クラブとしてもとても嬉しい出来事でした。

グラウンドでは、ホッケーを通じて様々なコミュニケーションがなされ、先生の指導はもちろんのこと、年代の近い高校生から教わることも、子どもたちにとって楽しい体験になっているようです。

今年度は用具をさらに揃えて、念願の町で開催されるスポーツ少年団のホッケー大会に出場したいと考えています。また、町内の中学校にホッケー部がないことから、今後の競技活動をどのように継続させていくか、先生の協力を得ながら一緒に取り組んでいこうと考えています。

(楽々クラブ矢巾 クラブマネージャー 射守矢 加代子)



設立年月日：平成21年3月21日

地 域：岩手県紫波郡矢巾町

岩手県のほぼ中心部に位置し、総面積67.28平方キロメートルの、岩手県で2番目に小さな町。盛岡市南部に隣接するベッドタウンとして開発が進み、人口増加が進んでいる。

人 口：26,720人（平成25年5月現在）

運 営：会員数 241名（平成25年4月23日現在） 予算規模 約560万円（平成25年度）

特 徴：町社会教育課、スポーツ推進委員、町体育協会、各サークル代表で組織され、町・体育協会・地域の学校と連携して活動している。

連 絡 先：〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢幅13-118 矢巾町民総合体育館内2階

TEL：019-611-2873 FAX：019-697-4907

E-mail：lala-club@cube.ocn.ne.jp

クラブが持つ集客力のあるプログラム

[K-Friends – だろたんぼカーニバル in かつうら –]

1 プログラムの概要

実施頻度：毎年9月（過去4年間実施）

参加者数：約200名

参加費：ソフトバレーボール大会 1人1,000円 その他 1人100円

場所：勝浦町道の駅「ひなの里かつうら」裏のたんぼ（勝浦町大字生名）

特徴：スポーツをする人、見る人、応援する人はもちろん、カメラマンやスタッフも100%の笑顔になる、だろたんぼの中での魅力あるソフトバレーボール大会、ちびっこ運動会、フラッグ大会を開催。

2 だろんこになる人も見る人も笑顔になります

K-Friends(以下、クラブ)では、クラブの認知度向上と地域活性化を図るために勝浦町の山、川、たんぼ、澄みきった空気、穏やかな気候、あたたかい人柄の町民性を活かしたイベントを開催できないものか、クラブ内で検討していました。見る人や応援する人はもちろん、スタッフも楽しめるもので、からだ元気がなり、こころも健康になり、みんなが笑顔になる「クラブのメインイベント」を企画するべく、知恵を絞った結果、地域資源の一つである「たんぼ」を活かして参加者がだろんこになるスポーツ大会の開催を発案し、4年前に始めたのが「だろたんぼカーニバル in かつうら」です。

イベント開催にあたり重要であるのが、会場確保と開催時期です。イベント開催には駐車場、トイレ施設等が必要で、これらの条件が揃った「たんぼ」は、クラブ会員から「クラブと町の活性化のためであれば」と借用を快諾いただき確保できました。また、開催時期について、夏は台風襲来や稲刈りの時期であり、一方、冬はたんぼの休閑期ですが、だろんこになった参加者が寒く感じる事が想定されることから、毎年9月に開催しています。

このプログラムのポイントは、「泥まみれになる」という日常経験できないことが体験できる点にあります。そこで、あえてだろんこになりやすいような種目（団体種目としてソフトバレーボール、個人種目としてフラッグ、その他リレー等）としました。また、ただだろんこになるだけでなく、衣装コンテストも行うなど参加者が色々な形で楽しめるように工夫しました。子どもから大人まで一緒に楽しむことができ、全身がだろんこになる参加者の姿が絶好のシャッターチャンスにもなるので、カメラマンも応援する人もどんどん増えました。（全体参加者数：第1回目約200人⇒第4回約300人）

このプログラムの課題は、シャワー施設のレンタル代金（町からの補助金にて支出）が高額であり、参加人数に対応した台数をレンタルできなかったことです。その点については、シャワー時間の短縮を考えて、近隣の温泉施設（特別養護老人ホーム）に入浴の割引利用に協力していただき、参加者がゆっくり入浴していただくことで改善しました。

また、このプログラムの難しい点は、準備から後片付けまで体力的にハードである点です。なめらかな水田に仕上げるための腰痛覚悟の作業、灼熱の太陽の下のイベント進行、だろだろになるシャワー室やトイレのブラシかけなど、



スタッフの苦労話は語り尽くせないほどあります。それでも、「来年もやろうね」という声が上がります。それはクラブにとって、クラブスタッフやボランティアスタッフの団結力が高まる貴重な機会となるからです。

参加していただければわかる最高に楽しいイベントです。また、イベントのマンネリ化を防ぐため今年の秋からは、どろたんぼカーニバルの開催で培った運営ノウハウを活用して新しいイベントも準備中です。ぜひ多くの方々に楽しんでいただきたいと思います。

(K-Friends クラブマネージャー 溝上 由美)



クラブプロフィール

設立年月日：平成21年3月15日

地域：徳島県勝浦郡勝浦町（勝浦川と山に囲まれた自然豊かな地域）

人口：5,753人（平成25年4月末現在）

運営：会員数 442人（平成24年3月現在） 予算規模 1,900万円（平成25年度）

特徴：スポーツ教室（8教室）、ダンス教室（4教室）、スポーツサークル（4サークル）、文化教室（3教室）、ファミリースポーツフェスティバル、ウォーキング、カローリング大会などを実施。

連絡先：〒771-4307 徳島県勝浦郡勝浦町大字三溪字古川1-1

TEL・FAX：0885-42-3671

E-Mail：kfriends@27.fan-site.net

クラブHP：<http://kfriends.fan-site.net/index.html>

まじゃらいんスポーツクラブの取組み

1 農業エコ体験とスポーツ交流の場に招待

被災地の子どもたちを元気づけたいとの思いから、下記の概要でスポーツ活動等が十分にできない子どもたちを対象に、農業エコ体験及びスポーツ交流を行いました。

主催：まじゃらいんスポーツクラブ
後援：公益財団法人宮城県体育協会
期日：平成24年10月27日(土)～28日(日) 1泊2日
場所：大崎市松山体育研修センター、
松山多目的芝生グラウンド、一ノ蔵本社蔵
内容：(1) 農業エコ体験 精米などを体験
(2) スポーツ交流 サッカーによる交流会
日程：第1日 10月27日(土)

15：00 開会行事
15：30～16：30 スポーツ交流
松山多目的芝生グラウンド
17：00～19：00 バーベキュー・夕食及び交流会
松山体育研修センター
19：00～ 宿舎移動

第2日 10月28日(日)
9：00～10：00 一ノ蔵本社蔵見学会(保護者・子ども)
10：00～11：30 農業エコ体験(精米など)
11：30～ 閉会行事



2 元気と笑顔を取り戻してもらうために

東日本大震災による地震と津波の被害は甚大で、特に沿岸部が受けた被害は想像を絶するものがありました。震災から2年以上が経過した現在も、被災地では復旧・復興が急がれる状況です。

宮城県大崎市にある「まじゃらいんスポーツクラブ(以下、クラブ)」は震災直後から、宮城県内の津波被害の大きい地域の復興のために、設立母体である旧松山町サッカー協会のネットワークを活用して義援金を送る支援を行ってきました。しかし、原発事故により不自由な生活を余儀なくされている福島県を知り、福島県の子どもた

ちに伸び伸びと体を動かしてもらおう招待事業を企画しました。

当初は、福島県内の総合型クラブと調整を図りましたが、上手くマッチングができなかったため、宮城県内の子どもたちの受入れ支援に変更しました。宮城県体育協会の協力もあり、声掛けの結果、石巻市開北サッカー少年団を招待しました。(石巻市は震災による死者、行方不明者が県内で最も多い地域です)

招待事業は、石巻市開北の子どもたちに日常のストレスを解消してもらい、元気と笑顔を取り戻してもらいたいとの願いから、1泊2日で「農業エコ体験・スポーツ交流招待事業」を実施しました。これは毎年クラブが実施している「農業エコ体験」事業のノウハウを活かした、クラブだからこそできる事業です。(クラブでは宮城県有数の米どころである土地柄を活かして、毎年クラブの子どもたちに田植えから稲刈りまでを体験してもらっています)

1日目はサッカー交流会を行い、2日目が農業エコ体験です。クラブ会長の田んぼを借りて精米作業とお米の収穫量当てクイズを行い、石巻市の子どもたちにとっては、久々に自然に触れ合う機会となりました。保護者も含めて総勢70名ほどの参加があり、とても賑やかに子どもから大人まで交流することができ、所期の目的を達成できました。クラブスタッフのみならず会員の保護者も多数応援に駆けつけ、準備から後片付けまでの作業を手際よく進めてくださり、地域のチームワークと情熱を感じた事業でした。

3 支援活動で気をつけたこと

この支援で一番気をつけたことは、支援の押付けにならないように配慮したことでした。現在、被災地支援活動は、支援される側にも連絡調整や当日の引率等負担がかかるため、支援を受入れることが出来る団体が限られ、またその団体に支援が集中している面があります。そういった面もあり県体育協会と協力し、支援される側の負担とならないよう準備を進めました。もし支援活動をお考えの際は、その点にもご注意ください。

この支援をきっかけにクラブでは、今回実現できなかった福島県の子どもたちへの支援も含めて今後も事業を継続し交流を深めたいと考えています。

(公益財団法人宮城県体育協会クラブアドバイザー 相田 恵美)

クラブプロフィール

設立年月日：平成20年2月3日

地 域：大崎市松山地区

運 営：会員数 102名(平成24年4月1日現在) 予算規模 922,000円(平成24年度)
(※5月末がクラブ総会のため平成24年度の数値)

特 徴：サッカーを中心に、スキー、登山などのクラブ事業を展開し、スポーツが本来持つ“楽しさ”をコンセプトに活動している。スポーツ以外に「米づくり」「ホテル観賞」「生き物調査」の自然体験活動や国際交流など、幅広い活動に取り組んでいる。

連 絡 先：〒987-1305 宮城県大崎市松山次橋字次橋82

TEL・FAX：0229-55-3409

Mail：info-majyaspo@grupo.jp

クラブHP：<http://majyaspo.grupo.jp/>

助成金情報

申込締切：5月24日まで

- ▶ 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
＜第11次＞[5月24日(金)当日必着]
<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

[INDEXへ▲](#)

お知らせ

●平成25年度クラブマネジメント指導者海外研修事業参加者募集について

日本体育協会では、総合型地域スポーツクラブにおいて活動するクラブマネジャー等の資質向上と活動促進を図ることを目的として、地域スポーツクラブ先進国であるドイツ連邦共和国に日体協公認クラブマネジャー・アシスタントマネジャーを派遣するクラブマネジメント指導者海外研修事業を実施します。

派遣団員は、各都道府県体育(スポーツ)協会による推薦が必要となりますので、参加をご希望の方はお住まいの各都道府県体育(スポーツ)協会へお問い合わせください。

派遣期日：平成25年10月27日(日)～11月3日(日・祝)(6泊8日)

派遣先：ドイツ連邦共和国 ノルトライン・ヴェストファーレン州

主な派遣要件：①日体協公認クラブマネジャー・アシスタントマネジャー

②都道府県体育(スポーツ)協会からの推薦

③参加個人負担金：20万円

※希望者多数の場合、日体協にて派遣団員の選考を行います。

なお、都道府県体育(スポーツ)協会から日体協への推薦〆切日は来る5月31日(金)となっています。

- ▶ 都道府県体育(スポーツ)協会の一覧はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/member/tabid/565/Default.aspx#02>

●総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」の募集開始!!

総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC全国ネットワーク)が平成25年(2013年)度に設立5周年を迎えることから、その記念事業として、総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテストを実施します。

応募資格：SC全国ネットワーク加入クラブ(含、設立準備中団体)

応募期間：平成25年5月1日(水)～8月30日(金) ※締切日当日までの応募有効

- ▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/tabid/84/Default.aspx?itemid=2634>

●労力半分、効果は2倍!あなたにもできる「クラブのらくらく広報」を作成!

会員募集やクラブの周知が思うように進まない・・・

広報活動をする人手が足りず、技術もなく困っている・・・

そんなクラブの方のために効果的な広報を行うためのガイドを作成しました。

本会HP上からダウンロードできますのでご活用ください。

- ▶ 「クラブのらくらく広報」

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05>

●「スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン(標語)」の募集

去る平成25年4月25日、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟および日本中学校体育連盟は「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」を開催し、「暴力行為根絶宣言」を採択しました。

▶ 宣言文はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2636>

この宣言をスポーツに関わる人すべてに周知するとともに、今後、わが国のスポーツ現場における暴力行為を根絶し、アスリートや障がい者を含む子どもから高齢者までの各層の国民が安心して主体的にスポーツに取り組み、スポーツ文化を豊かに享受できる環境を構築することを目的にスローガン(標語)を募集しています。皆さまもふるってご応募ください!

応募期間：平成25年5月10日(金)～5月31日(金)

※郵便はがきの場合は締切日の消印有効、FAX、HP上からの場合は締切日当日の応募有効

▶ 募集の詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2635>

●「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン特別セミナー」を開催!

日本体育協会では、「フェアプレイ」が社会に浸透することを目指し、「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン」を実施しています。

2020年オリンピック・パラリンピックの東京での開催が望まれる今、「フェアプレイ」が日本中に浸透することを目指し、その価値を多くの方と共有することを目的に特別セミナーを開催しますので、ぜひ、ご参加ください!

日 時：平成25年6月23日(日)13時開演

会 場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

参 加 料：無料

申込締切：平成25年6月14日(金)まで

※往復はがきの場合は締切日当日必着、HP上からの場合は締切日当日の応募有効

▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2639>

また、本会専用WEBサイト上でフェアプレイ宣言を行うことができます。

まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひフェアプレイ宣言をお願いします。

▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会では、現在、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を東京で開催すべく、各所で招致活動を行っていることは皆様ご存じの通りです。

日本がひとつとなって、これまで以上に招致活動を盛り上げるために、皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。(twitter、facebook等もご活用ください)

▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会ホームページはこちらから

(貴クラブのホームページにリンクいただくなど、ご協力をお願いします)

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください!

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。
おかげさまで、現在約4,600の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。
個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を周りの方にお勧めください。
よろしく願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会 HP のトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック
- 4) 「登録する」をクリック
- 5) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6) 登録確認画面へ(完了)

- ▶ メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。周りの方にもぜひ登録をオススメください!

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

- ▶ メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

[INDEXへ▲](#)